

A0379 DE10-1756+ヨ28002+783系 特急「ハイパー有明」

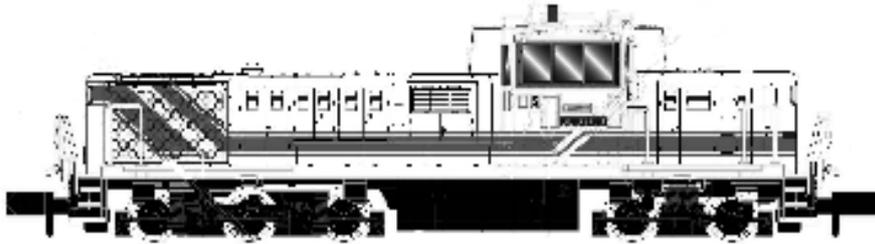
予価:22,500円(税別)

JANコード:111444 カート内入数:12

A0372 783系リニューアル 特急「にちりん」5両セット

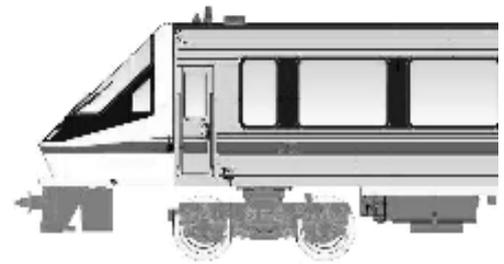
予価:16,300円(税別)

JANコード:104057 カート内入数:12



DE10-1756

A0379



783系「ハイパー有明」

<p><b>商品形態</b></p> <p>Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 ブックケース入り)</p> <p><b>実車</b></p> <p>783系はJR発足後初の新製特急電車で、九州の特急列車短編成化による増発対応のために製造され、1988年3月13日のダイヤ改正より特急「有明」で営業運転を開始しました。禁煙・喫煙車、自由席・指定席を細かく設定するため車体中央に扉を設けて1両を2室に分けるという独特の配置が特徴です。車体はステンレス製で、新製当初有明用は赤帯・かもめ用が青帯で冷房は床下装備でしたが、現在はリニューアル工事が施され、カラフルな帯とレタリングが施され、冷房装置の一部は屋根上に移設されています。また2000年からは、みどり・ハウステンボス用に切妻の先頭改造車も登場しました。南福岡電車区に90両が在籍し、かもめ・みどり・ハウステンボス・にちりん・ドリームにちりん・にちりんシーガイア等に使用されています。</p> <p><b>【A0379】</b> 熊本の観光地である水前寺へのアクセスを向上するために、1987年3月から特急「有明」の一部列車を、豊肥本線水前寺まで延長運転が開始されました。しかし当時の豊肥本線は非電化であったため、熊本～水前寺間はサービス用電源車と専用塗装のディーゼル機関車を連結して運転されました。当初は電源車にスハフ12を使用していましたが、のちにヨ8000を改造した専用の電源車が登場し、下り列車は牽引で、上り列車は推進で運転されました。DE10-1755が485系に合わせた特急色、DE10-1756が783系に合わせたハイパーサルーン色に塗装されていました。1994年7月に水前寺乗り入れは廃止されましたが、1999年10月に豊肥本線熊本～肥後大津間の電化完成により、電車による直通列車が復活しています。</p> <p><b>【A0372】</b> 当セットは南福岡電車区(本ミフ)に所属しているCM-32編成です。787系「つばめ」に準じたリニューアル工事により、塗装が赤・緑・青・黒のブロックパターンへと変更されています。</p>	<p><b>商品概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロエース特急電車シリーズの更なる充実</li> <li>・2003年夏に発売したA0370、A0377:783系を元にした新バリエーション。</li> <li>・現在の九州を代表する特急電車。</li> <li>・ヘッドライト、テールライト点灯(ON-OFFスイッチ付き)</li> <li>・各車の前後の客室で異なる座席の色を再現。</li> <li>・足下が引き締まる黒染め車輪を採用。</li> </ul>																																																
<p><b>A0379</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時非電化のJR豊肥線乗り入れの為、機関車牽引で運転されていた姿を再現するセット。</li> <li>・動力ユニットは783系に組み込み、DE10はトレーラー仕様。実車通りの編成の他、783系のみでも走行出来ます。</li> <li>・ハイパーサルーン色(白地に赤帯)のDE10は、台車や手すり等を実車に則した形状として、A8701等とは作り分け。</li> <li>・ヨ28002は電源車への改造により、デッキ部分に取り付けられたカバーなどを再現。</li> <li>・783系は白地に赤帯の「ハイパーサルーン」塗装。 屋根上に冷房が増設された後の姿として、A0370とは作り分け。妻板にはヨーダンパを別部品で取り付け済み。 稀に見られたクロ782組み込み編成を製品化。</li> <li>・編成</li> </ul> <table border="1" data-bbox="236 1615 1139 1727"> <tr> <td>←博多</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>熊本・水前寺→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◇</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クモハ783-12</td> <td>モハ783-112</td> <td>サハ783-206</td> <td>クロ782-6</td> <td>ヨ28002</td> <td>DE10-1756</td> </tr> <tr> <td>←ライト</td> <td>モーター</td> <td></td> <td>ライト→</td> <td>←ライト→</td> <td>←ライト→</td> </tr> </table>	←博多					熊本・水前寺→		◇					クモハ783-12	モハ783-112	サハ783-206	クロ782-6	ヨ28002	DE10-1756	←ライト	モーター		ライト→	←ライト→	←ライト→	<p><b>A0372</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1994年以降、リニューアル工事が施された783系を再現するセット。</li> <li>・銀色をベースに赤、緑、青、黒のブロックパターンが貼られた姿を再現。</li> <li>・グリーン車マーク、ナンバーの他、細部のレタリングも美しく再現。</li> <li>・ヘッドライト、テールライトの他リニューアル工事で増設されたフォグランプも点灯可能。</li> <li>・屋根上に冷房が増設された後の姿。妻板にはヨーダンパを別部品で取り付け済み。</li> <li>・編成</li> </ul> <table border="1" data-bbox="236 1910 1059 2022"> <tr> <td>←小倉</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>博多・宮崎空港→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◇</td> <td></td> <td>◇</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>クモハ783-10</td> <td>モハ783-110</td> <td>サハ783-205</td> <td>モハ783-10</td> <td>クロハ782-505</td> <td></td> </tr> <tr> <td>←ライト</td> <td>モーター</td> <td></td> <td></td> <td>ライト→</td> <td></td> </tr> </table>	←小倉					博多・宮崎空港→		◇		◇			クモハ783-10	モハ783-110	サハ783-205	モハ783-10	クロハ782-505		←ライト	モーター			ライト→	
←博多					熊本・水前寺→																																												
	◇																																																
クモハ783-12	モハ783-112	サハ783-206	クロ782-6	ヨ28002	DE10-1756																																												
←ライト	モーター		ライト→	←ライト→	←ライト→																																												
←小倉					博多・宮崎空港→																																												
	◇		◇																																														
クモハ783-10	モハ783-110	サハ783-205	モハ783-10	クロハ782-505																																													
←ライト	モーター			ライト→																																													
<p><b>付属品</b></p> <p>行き先ステッカー</p>	<p>JR九州商品化申請中</p>																																																